

患者様パスシート

パス名 ネフローゼ症候群クリニカルパス

ネフローゼ症候群の治療を受けられる患者様へ

予定は病状により変更される場合があります

山梨大学付属病院小児科



入院当日	プレドニン治療開始日	尿蛋白陰性化まで	寛解期・治療法変更	プレドニン減量期	退院予定日
早期尿にて尿蛋白(3+)が3日間連続してから治療開始となります 1週間から4週間くらい			1. 早期尿蛋白が(-)になります 2. 効果がない場合があります(ステロイド抵抗性)	4週後	プレドニン減量中
月日	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()
注射	むくみの強い場合は点滴をして利尿剤やアルブミン投与を行う場合があります 	点滴していたお子様はむくみが改善し尿量が増えれば点滴を中止します 	ステロイドの効果は充分でない場合は、他の治療法に移行する場合があります。(例ステロイドパルス療法)		数日前に退院予定日をお知らせします 事前に精算を済ませることもできます 次回外来予約はこちらで行いお知らせします
内服	再発確定後、プレドニン内服(粉薬 or 錠剤)を開始します。投与量は1日に体重(kg)×2mgで1日3回に分けて飲みます 錠剤の内服できるお子様には1錠5mgの錠剤の方が内服し易いと思えます 			プレドニンを減量します 体重(kg)×1.3mgを1日おきに朝1回だけ飲みます(効果により変更の場合あり)	退院処方(プレドニン)があります。減量開始後計4週間内服します
診察	主治医の診察は毎日(月から金)あります。毎日、数回検温があります 	毎週月曜日の午後に教授回診があります 		検温 	内服の方法は退院前と同様です
説明	主治医より入院時の病状について説明があります 看護師から入院生活や病棟規則について説明があります 	入院中、適宜病状その他についてご説明しますが、ご不明の点はいつでもお尋ねください 主治医に、特別に病状についてお聞きになりたいことがある場合は、時間等を担当看護師にご相談下さい。多くの医師や看護師が関わっているため、若干説明が異なる場合があります。不明な点がございましたら、主治医や担当医にご説明ください。			退院時説明があります
検査	入院時検査 1) 血液検査、尿検査 その他、必要に応じて胸部レントゲンなどが行われます 	入院後検査(毎日尿量を測定します) 1) 尿検査(連日早期尿、蓄尿蛋白定量) 2) 血液検査(週1-5回程度:重症度による) 3) 便潜血検査(週1回程度) 4) 眼科検診(ステロイド長期投与の場合) 5) 超音波検査などの画像検査 服薬検査 	注) 早期尿は毎朝第1尿を提出してください 乳幼児の場合、採尿パックも使用できます たまた尿の検査は、早期尿での尿蛋白が(-)になれば中止します 便潜血検査、眼科検診はプレドニン副作用チェックのために行います		薬剤内服中は1-6週間に1回、小児科外来を受診していただきます 毎回受診時には早期尿を提出してください
食事	寛解するまでは、減塩食5(浮腫期) -7gになります。年齢により異なる場合があります。 		食事制限を解除します。		退院後の食事制限はありません
清潔	点滴をしていないお子様は入浴(シャワー)していただけます 点滴をしている間は、1日1回および必要時に身体を蒸しタオルで拭きます。但し、水分・食事が充分取れれば、シャワー可です。 				退院後の入浴は自由です
活動	トイレ歩行可 プレイルーム()	プレドニン初期内服中(1日3回)は感染に対する抵抗力が落ちているため手洗いうがいを励行してください 廊下・外出に出る場合は看護師に申し出た上でマスクを着用してください		プレイルームで遊べます(マスク着用) 	保育園、幼稚園、学校等は可です。
備考	トイレ、洗面は可です 	蛋白尿が続いている間は、毎回尿量を測定します。 1日2-3回血圧を測ります 毎日体重を測ります			退院後、生活制限はありません。
学習	帰宅してからのことについて勉強します。			退院のためのチェックがあります	